



市工連かわらばん

第164号
(2017年5月)

一般社団法人 横浜市工業会連合会

横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル2階
〒231-0023
TEL 045 (671) 7051 FAX 045 (671) 7321

市工連ホームページ <http://www.y-shikouren.or.jp>

●「受発注相談コーナー」(相談無料) は、ホームページで。

－ 本号の記事 －

- ① 一般社団法人横浜市工業会連合会 平成29年度事業計画
- ② 「平成29年度 学校と企業の就職に関する懇談会」開催のお知らせ
- ③ 「よこはま就労支援プログラム」インターン実習生受け入れ企業募集
- ④ 横浜市からのお願い 平成29年工業統計調査の実施

①●

一般社団法人横浜市工業会連合会 平成29年度事業計画

平成29年3月30日の理事会・総会において平成29年度の予算、事業計画書が承認されました。以下に事業計画の抜粋を掲載します。全文は、市工連ホームページをご覧ください。

横浜市工連 概要

検索

平成29年度事業計画 (抜粋)

I. ものづくり活性化事業	20,613千円
II. 産業振興施設の管理運営	91,837千円
III. 市工連及び地域工業会の活性化	8,411千円
IV. 法人運営 (法人会計)	7,963千円

I ものづくり活性化事業

[20,613千円]

1 販路拡大事業 (12,019千円)

横浜、川崎での大型商談会の開催のほか、受発注情報の整備・充実を図り販路拡大を促進すると共に、第39回目となる「テクニカルショウヨコハマ」では、成長産業分野の振興や小規模企業の需要開拓などを進め、展示ホールを増床し機能充実を図ります。

(1) テクニカルショウヨコハマ (横浜市負担事業)

開催日 平成30年2月7日(水)～9日(金)

会場 パシフィコ横浜 展示ホール・アネックスホール

C・Dホール10,000㎡ → A・B・Cホール13,300㎡

(2) 商談会等の開催 (横浜市補助事業)

①受発注商談会 川崎会場 平成29年9月27日(水)

②受発注商談会 横浜会場 平成30年2月7日(水)

(3) 受発注相談 (横浜市補助事業)

(4) 横浜ネットワークプラス (受発注情報システム) の運営 (横浜市補助事業)

(5) 横浜市との事業連携 <新規>

横浜市が経済成長戦略として進める、ロボット技術やIoT技術の導入、テレワーク事業推進等の取り組みについて、会員への説明会の開催等、横浜市と連携して事業推進

2 ものづくり人材育成支援事業 (8,594千円)

ものづくり産業の担い手となる人材の育成及び確保のため、学校と企業との交流を図る事業のほか、高校生を対象としたものづくり現場の魅力を伝えていく事業を実施します。また、研修会の開催等を通し情報交換、交流の機会を提供し、入社後数年で離職することのないよう引き続き入社後のフォローアップ事業を実施します。

- (1) 新入社員合同研修
 - 研修日程 平成29年4月13日(木)～14日(金)
 - 研修会場 帆船日本丸、及び同訓練センター
- (2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会
- (3) 就職に関する懇談会等の開催(横浜市補助事業)

工業系高等学校、総合高校等の関係者と企業の採用担当者等を対象に、企業の採用情報、高校生の就職状況等を情報交換する懇談会を開催

 - 日 時 平成29年6月9日(金) 14:00～
 - 会 場 神奈川県中小企業センター
- (4) ものづくりの魅力を伝える事業(横浜市補助事業)
 - ①出前講座の開催
 - ②工場見学会の開催
 - ③ものづくり企業紹介フェアの開催(テクニカルショウヨコハマの見学会)

高校生を対象に、ものづくり企業についての講演会及びテクニカルショウ見学会を開催
 - ④ものづくり就労支援

中小ものづくり企業のイメージ向上を図るため、新入社員から出身校の後輩に送るメッセージや、インタビュー記事を掲載した会報を作成し、ものづくり企業への勧誘及び魅力発信、学校との連携による第2新卒者の掘り起こし等、多岐にわたる就労支援策の企画、実施
- (5) 技術者育成支援事業(横浜市補助事業) <新規>

ものづくり企業の礎となる人材の育成、社内の技術力向上、技術承継を推進するため、従業員への資格取得に対する支援

II 産業振興施設の管理運営

【91,837千円】

- 1 鳥浜・試作型貸スペース(T3)事業(13,311千円)
 - ・所在地:横浜市金沢区鳥浜町16-6
 - ・施設内容:試作用賃貸スペース 約80～約120㎡ 全5区画
(付属事務室 約25㎡～約28㎡)(現在:全5区画入居)
- 2 横浜産貿ホールマリネリアの管理・運営事業(78,526千円)
 - ・所在地:横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1・2F
 - ・施設:展示場(1F 1,630㎡)、小展示室(2F 70㎡)

III 市工連及び地域工業会活性化の取り組み

【8,411千円】

地域工業会・事業会及び青年経営者会を支援するほか、密接な連携をもとに5つの委員会を設け各種事業の検討・実施に取り組んでいきます。

- 1 委員会による事業推進
 - ①総務委員会
 - ア 市工連の運営
 - イ 地域工業会の広報誌発行、講習会の開催経費等の支援
 - ②政策委員会
 - ア 横浜市との中小企業支援施策の立案検討会の設置
 - イ 地域工業会要望の検討・作成
 - ウ 時宜に応じた政策要望への対応
 - ③事業・企画委員会
 - ア 会員企業へのメリットの高い経営上の情報を支援事業として提供
 - イ 会員企業における「すぐれたアイディア」の応募を促し審査、顕彰
 - ウ 会員企業の交流活発化
 - ・他都市工業団体との交流及び共同事業の開催
 - ・会員相互の情報交流会の開催
 - ④広報・産学委員会
 - ア 企業への情報ネットワークの構築
 - イ 広報紙、ホームページ、メルマガ及び受発注ネットワークの内容の充実、会員企業PRの拡大
 - ⑤雇用・環境委員会
 - ア 中小企業への人材供給と人材育成
 - イ 中小企業の環境問題及び省エネ対策の取り組み支援
 - ウ 求人企業情報の周知の検討
- 2 情報発信事業
 - (1) インターネットを活用した情報提供
 - (2) 機関誌の発行
 - ①機関誌「よこはま市工連」 年2回発行
 - ②情報紙市工連「かわらばん」 年6回発行
- 3 すぐれたアイディア表彰
- 4 会員のサービス事業
 - (1) 会員サービスの向上を図るため次の事業を行います。
 - ①「災害共済」、「労災保険」等各種福利厚生事業の充実

- ②社会的課題ともなっている環境問題、雇用問題への取り組み
③製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、P L 保険への加入促進

IV 法人運営（法人会計）

【7,963千円】

総会・理事会の開催ほか、団体運営の活動を行います。

②●

「平成29年度 学校と企業の就職に関する懇談会」開催のお知らせ

今年も、新規学卒者の求人公開日が近づいてまいりました。そこで、横浜市工業会連合会では、会員企業の皆様と高等学校等の進路指導担当教諭にご参加いただき、就職に関する懇談会を開催します。

会員企業の皆様方には、多くの学校関係者と懇談していただけるものと考えておりますので、ぜひご参加ください。

昨年開催実績

	学校	企業
参加者	19校	46社

※懇談会終了後学校側と接触した 122件、採用内定 30件
(29年1月アンケート実施：46社中35社から回答)

- 1 日 時：平成29年6月9日（金） 14：00～18：00
- 2 会 場：神奈川中小企業センタービル14F 多目的ホール
横浜市営地下鉄「関内駅」7番出口より徒歩約2分
JR根岸線「関内駅」北口より徒歩5分
- 3 内 容（予定）：・企業紹介・学校紹介、個別面談
- 4 参加予定校：（昨年度実績、五十音順、（定：定時制））
県立高校：磯子工業高校、磯子工業高校（定）、神奈川工業高校、神奈川工業高校（定）、釜利谷高校、川崎工科高校、希望ヶ丘高校（定）、商工高校、城郷高校、藤沢工科高校、向の岡工業高校、横須賀工業高校、横浜清陵総合高校、横浜明朋高校（定）、
市立高校：戸塚高校（定）、
私立高校：秀英高校、高木学園高校、三浦学苑高校、
その他：東部総合職業技術校、
- 5 参加申込期日：平成29年5月22日（月）（お申し込み多数の場合は、期日前に締め切る場合があります。）
- 6 参加申込到着後「企業紹介書」をお送りします。ご記入のうえご返送ください。（5/26必着）
学校側の「学校紹介書」は6月7日頃までにお送りします。
- 7 参加申込み・お問合せ：下記連絡票を市工連あてご送付ください。（担当 斎藤）



Tel 045-671-7051, email: soumu4@y-shikouren.or.jp

参加連絡表（切り離さずに送信してください）（FAX：045-671-7321）

企業名			
（ふりがな）お名前		部署 役職	
電 話		FAX	
e-mail			

③●

従業員の採用をお考えの企業様

平成29年「横浜市就職サポートセンター」 インターンシップ実習生受け入れ企業様を募集します

- ・募集をしても人材が集まらない
- ・自社をうまくアピールできない
- ・すぐやめてしまう

そんなお悩みを抱えていらっしゃいませんか？採用意欲のある企業様と若年者、職場復帰に意欲のある女性との橋渡しを行う、インターンシッププログラムを活用して採用してはいかがでしょうか？

★インターンシップ受入れのメリット

1 就職意欲のある人材と出会える

意欲のある人材とインターンシップ期間(1週間程度)を通して接することで御社に必要な人材かどうかご判断いただけます。

- ・横浜市内在住・在学の18才以上39才以下の方
- ・横浜市内在住でキャリアブランクがあり再就職を希望する女性

2 ミスマッチの少ない採用が可能

インターンシップ前に実習生に対し企業紹介の場となる「マッチング交流会」を開催し、相互理解を深めることによりミスマッチの少ないインターンシップに結び付けます。

3 採用募集費用の削減

給与、交通費、食事代、採用に関する費用は一切かかりません。また、研修生は、全員インターンシップ保険の被保険者となりますが企業様のご負担はありません。

★インターンシップ受入時期：第1期生：平成29年6月上旬

第2期生：平成29年9月下旬

第3期生：平成29年11月下旬

第4期生：平成30年2月上旬

★お申込み・お問い合わせ：一般社団法人横浜市工業会連合会 TEL：045-671-7051

下記御申込書にご記入いただきFAX(045-671-7321)にてお申し込みください。

貴社名			
所在地	〒		
部署		お役職	
TEL		FAX	
E-mail			
受入希望時期 ○をつけてください	・1期生(6月上旬) ・2期生(9月下旬) ・3期生(11月下旬) ・4期生(2月上旬)		

※申込受付後、就職サポートセンターからご連絡すると共に、受入概要、職場環境についてご記入いただく、横浜市就職サポートセンター事業受入申込書をお送りします。

本事業は、株式会社パソナが横浜市より運営を受託し、一般社団法人横浜市工業会連合会が体験就業受け入れ企業(インターン実習)を募集してマッチングを図ります。

④

横浜市からのお願い

平成29年工業統計調査を実施します -6月1日に調査日が変更になりました-

○平成29年工業統計調査は、製造事業所を対象に本年6月1日時点で実施します。工業統計調査は、例年12月31日に実施していましたが、今回調査から6月1日に調査日が変更となりました。

○工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。

○調査の結果は、中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

○調査をお願いする事業所には、本年5月中旬から調査員が調査票を持ってお伺いするか、又は国から直接郵送でお届けします。

○調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御回答をよろしくお願いします。



●調査内容 従業者数、製造品出荷額、原材料使用額等

●問合せ先 横浜市政策局統計情報課 電話 045-671-2105